

1 少年消防クラブとは

(1) 成り立ち

少年消防クラブ（BFC＝ボーイズ & ガールズ ファイヤー クラブ）は、昭和25年に制度が発足され、札幌市では昭和60年に地域住民と消防機関が一体となって、地域の防火活動を率先して担う、規律ある社会人となる基礎を築くことを目的として設立されました。



(2) 活動のねらい

クラブ活動を通して、防火・防災に係る知識や経験を習得することで、次世代における地域の防火・防災を率先する規律ある社会人となるための基礎を築き、将来の防火・防災リーダーとなることを目指しています。

また、クラブ活動は、地域と関わりを持ち、さまざまな仲間との交流を持つ機会となり、人間形成や地域社会への参加の面でも大きな意味があります。

一人のクラブ員にまかれた防火・防災の種が、やがて芽を出し、その家族や同級生などへ広がっていくように、活動の輪を広げていくことが期待されます。

(3) 活動事例

ア 消防訓練

消防の仕事や火災などへの対処法を学びます。時には、放水訓練も行います。



イ 消火栓除雪

雪が積もっても消防隊が消火栓を
使えるように、消火栓の周りを除雪
します。



ウ 高齢者施設への慰問

老人ホームなどを訪問し、お年寄りの方に、メッセージカードなどをプレゼントするボランティア活動を行います。



エ 地域の行事への参加

地域のお祭りなどに参加し、活動の披露や少年消防クラブのPRを行います。

